

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月7日

事業所名 ROSELLE CLUB T

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		机の配置やロッカーを移動するなどして工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	5		シフト作成時に配置を確認しながら作成している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		バリアフリーで児童発達支援の児童でも過ごしやすい環境になっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		活動に合わせて机の配置などを工夫している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	5			業務の振り返りは行うが、目標設定をもっとしっかり行うようにする
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者からの意向などを職員間で話あっている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		評価表を法人のホームページで公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		業務についてのアドバイスがある時は職員間で共有して改善に努めている	社内実地指導を定期的に行っている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		支援中など全員が研修を受けられない時は受けた職員が他の職員に伝達している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		保護者の意向を尊重しながら様々な意見を聞き、客観的に分析し、計画書を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		児童の様子、送迎時に会う保護者の様子など、気づいた事をこまめに職員間で話あい、その都度支援に必要な項目が選択できるように工夫している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		支援計画書を全員で確認し、支援方法について話し合いをしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		毎月ごとにプログラム内容を全員で話し合って決定している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		固定化しないようにプログラムを見直したり、児童の様子をみてプログラム内容を変更したりしている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	5		児童の状況を話し合い、その都度、状況に合った活動を取り入れながら、計画書に反映している		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日、申し送りを全員で行い、その日の活動内容を確認している	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		送迎後に振り返りを行ったり、申し送りノートを活用して全員で共有している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		毎日ステップ記録や申し送りノートを記入して支援の改善に繋げている	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		送迎時に保護者に聞き取りをしたり、電話連絡をしている	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		会議前に児童の様子を確認し、児童発達管理責任者や児童指導員が参加している	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		5		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		医療ケアの該当者なし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5		医療ケアの該当者なし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		5	送迎時や電話などで児童の様子を毎回保育園などに共有し、また保育園での様子や取り組みも確認して児童に必要な支援について相互理解を図っている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		5		該当なし
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5		他の事業所と併用している児童について、その事業所の職員と情報を共有したり、お互いに支援方法を確認し合っているが研修などは受けられていない
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		コロナウイルスなど感染症を気にして、企画できていないので、今後感染症の防止もしながら工夫して交流していく
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		地域の公民館などには定期的にお邪魔しているが子育て会議などに参加できていないので今後参加できるようにする
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		5	送迎時に活動の様子などを伝え、気になる事はその都度電話をして保護者と児童の状況についてこまめに話合うようにしている。また連絡帳を活用している	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5	保護者から相談や質問があれば解決できるように、しっかり話を聞いたり、調べるなどして相談にのっている。タイミングが合えば講演会などの案内もお知らせしている		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		5	契約を行う時に承諾していただけるように説明している		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		5	保護者から聞き取りを行いニーズを把握して計画を立て、その説明もしている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		5	送迎時に気になる事などがあれば聞き取りを行い、支援の方法などを一緒に考えたり、助言をしている。相談などがある場合は時間を確保し適切に応じている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	事業所参観日を設定し、保護者にも来所してもらい保護者同士の交流が図れるように活動などを工夫している	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		5	申し入れがあれば体制を整え、適切に対応できるように職員全員に周知している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		5	毎月、事業所だよりを発行したり活動の写真を連絡帳に添付するなどして保護者に対して発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している		5	個人情報は厳重に鍵付き書庫に保管したり、絶対外部に漏れないように職員全員に徹底して周知している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		5	連絡帳を活用し、メールでのやりとりも活用している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		地域の方を招待する行事を企画できていないので今後、企画していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		5	マニュアルについて、各委員会で見直しを行い、事業所で共有している。また、定期的に訓練の予定を立て実施している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		5	毎月、避難訓練の予定を立て実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		5	保護者からの聞き取りを行う際に状況を必ず確認し、全職員と共有している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5	食物アレルギーがある児童をリストアップし、アレルギー品目について、全職員が確認できる場所に貼り出している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		5	ミーティングの時に必ずヒヤリハット報告を行い、書式に記入してファイリングしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		5	虐待防止のための研修を全職員が受け、委員会の活動も報告してまとめている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		5	身体拘束を必要とする児童はいないが、対応しなければいけない時は保護者と相談し、対応していく	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。